

活動名	夢を育てよう！第2弾！親子運動教室 (正しいモデルから学ぼう)	団体名称	NPO法人プラスワン	
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動	
		活動目的	⑤障がい、難病の子どもの支援活動	
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容	
平成28年度に開始した日曜日の活動は毎月活動内容を変えていたが、29年度は体操の先生に講師として来てもらい、毎月1回の親子運動教室を行う。昨年度の2月の活動の際講師としてお招きし、子ども達で活動してみると、子ども達の年齢の幅が広くても各々でボールやマットを使い自由に工夫して遊ぶ姿、協力しあう姿がとても印象的であった。従って1年間で12回の体操教室と3回程度の子育てや福祉についての勉強会を行いたい。		毎月第3土曜日 10:30~11:30 スタジオじゆうの親子運動教室開催 3回/月 子育てセミナー	H29年9月より毎月1回運動教室を開催。講師の都合により別の土曜日に変更することもあるが定期的で開催されている。発達に心配のある未就学児と保護者(親子、兄弟も)平均5組程度、デイサービスの児童と合わせて行っている。 H30年1月に特別支援学校に通う子どもの保護者と相談員(松井含む4名)とで相談会を開催。日頃より心配なこと、将来への不安について話あう。相談員より将来を見据えてアドバイスをする。	
■活動目標	参加した子ども達が講師というモデルを通し指導員や子ども達という集団の中で関りを持ちながらソーシャルスキルを習得していく。また、保護者同士連絡先の交換をしたり、情報交換の場としての役割も果たす。			
■長期成果	子どもの発達の遅れを誰に相談していいのかわからないという親子同士が交流し、同じ目的の中で安心して過ごすことができる。また、親子の孤立を防ぐ。			
■活動風景				
				
スタジオじゆうH29.夏		スタジオじゆうH30.2		
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制		
<p><上半期の成果></p> <p>運動教室というタイトルで保護者は気を張らずに気軽に利用されているように思える。来年小学校に入学という子どもの保護者は障がいのあるわが子の学校生活に不安を抱いていることが多く、情報を得たいと思っておられるため、このような集まりに参加され他の保護者から色々話を伺ったりメールのやり取りをしておられる。</p> <p>初めて参加の子どもが集団の中に入れなかったり、入っても母親にべったりで離れなかったりするが、数回の利用で母親から離れ他の子ども達と一緒に活動できている。子ども達は運動教室を継続することで自然に周りに慣れてきており、初めての環境や人が苦手な子ども達も徐々に「いつもの運動教室」となっている。</p> <p>また、保護者向けに子育て相談会を開催、今年な例年になく大雪ではあったが14名の参加、相談支援専門員も4名参加で日頃の子育てや高校卒業後の進路について話し合うことができた。発達障がいの男の子の母親より、大学進学の間際等を聞かせてもらい子育て真っ盛りの母親達には大変参考になったようだ。</p> <p><下半期に向けた改善点></p> <p>チラシを関係機関に貼ってもらってはいるが、チラシを見ての問い合わせはほとんどなく、相談員が訪問中に気になる子どもの母親に声をかけてきてもらうことが多い。宣伝方法について検討していく。</p>		<p>○日時 月1回の土曜日</p> <p>○場所 コミュニティセンター、体育館</p> <p>○講師 スタジオじゆうの体育指導員</p> <p>○子ども対応 相談支援専門員(松井)放課後等デイサービススタッフ</p> <p>○参加 外部未就学親子、兄弟、デイサービス利用の子ども他</p>		
〒 939-0311 (住所)富山県射水市黒河新4920-1 (団体名)NPO法人プラスワン		助成金額 178,000円		助成期間 H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。